

何より、
草の根として活動している
方々に驚き、というか……

ガイドヘルプ
全身性介護人派遣制度
緊急一時保護者制度
他人介護料助成制度

というよりも・・・

自販機くんがよく働いたのだ

同時にNPO法人 地域生活を考えよーが設立

[illegible]

で、まずやったこと

有限会社と非営利活動法人

お風呂介助

これまでの事業・訪問看護

事業資金は自らが稼動
看護師3人を雇用
届き難いところに届けるサービス?
医療モデルでは無い地域生活

伊丹市
宿務さが旨いっ..

あたりまえですね。。。

訪問看護 その際に...

かんたん!
じゃないけれど...

大変?看護師さんを雇うのは??

医療モデル的なモノの見方を変えるほうが大変
と言うか、そこ(それ)が大切...
今も思う、「医療な部分」に入るのではなく、
その人に擦り寄るということ
暮らしの場に関わると
おもしろいように変わる人々...
その人の個性??感性??
そこに向かわず、ご本人さんたちの「力・はたらき」

で、半年後には

伊丹市鴻池(伊丹市の北のはずれ)に移転
いちおー私の暮らす街でふ、..

マンション1室(2LDK)を借りての拠点作り
宿泊と入浴

もちろんの24時間体制で、
とにかく共にお過ごし
共に遊ぶ 共に楽しみまくる
そこから(こそ)産まれる関係性
特にお風呂は大切なのだ(持論)

その翌年(2002年春)には

震災復興事業
CB離陸応援事業の助成金で
貸し店舗を活動拠点に追加

フリースペースとして活用



とにかく増え続ける需要の中で...

なんとも足りない社会資源
その根源は??

最も期待したい心(ところ)が機能しない訳は??

今はどんどん変わりつつあります

とても悲しいこととして...
変わりゆく人に添えない魂だとか
最も必要な「力」を感じながらもしないこと、とか

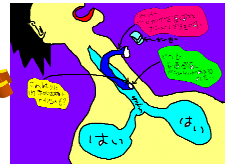
様態の変化に

変わらぬ関わりを

ものの見事に
地域移行を果たした彼!!

2011年鴻池5丁目界隈野球選手権前に

みんなほんとに
愛しています



USJ

せんたーでは、

道楽おやじと戯れる
毎日こんなしてる課では無いです

たいしたことなく、
あたりまえのことなだけけども、の
行き場の無い方々への支援
というよりも、そんな方たちと共に在りたい気持ち
懸命に生きる最中で
変わり行く様態にきちんと張り沿うこと
家人(主にはおかーちゃんだ)が倒れた際、
あるいは亡くなられた際の私達の立ち位置は・・・

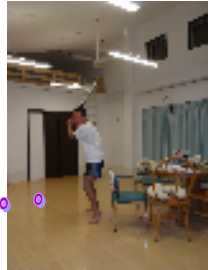
「大変」になる「特別」な社会を

彼女・彼等の介護給付によるモノ



このいけスペース

ゆとりです・・・
贅沢です・・・
道楽です。。
素振りもできます



なんで、こんな作るのか・・・

多機能だとかが良いわけでない
大切なのは、ゆったりした中での確かめ(確認)
多聴こう(たきこう=たくさん聴こう!)

それこそ、誰もがにある存在価値を
確認したい(してほしい)が故の・・・だったり

有限会社だからできるのか?

で、私たちの活動 と言うか、ほとんど道楽・・・

利用者みなさんで
180数名、.. なんと
なく重度な方ばかり
りのようなイメージがあるかも?ですが、障害の程度だ
とか有無だとかはあんまり関係なく楽しんでます。

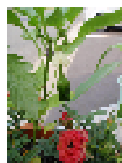


彼らも・・・

なんちゃいますかの、
彼女、彼らの「うちかう」とか
「はたうき」・・・

引き寄せられる私たち・・・

超重症児といわれる彼らも



私(くにもと)は、
お花とお野菜に
お水をあげる係り・・・

超重症児などといわれる彼らに

しっかり
追いついていけるのか

ようこそ!!
いらっしゃい!!

あたりまえですが、
病院や無いです。。

このいすスペース
写真:李国本修恵

しょうごくん、
来月はクリスマス会だ!
2011年11月17日



☆改めて、私たちの取り組み

なんちゃいますか、普通に暮らすこと...



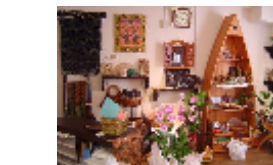
両親と暮らす彼、
日中も全て
個別給付費で活動し
ています。。

とにかく困われず
何が普通なのか...

2011年の目標発表会



尼崎市武庫之荘の
バリ雑貨店「ジャム・ルガ」



彼等から沸き起こってくる
「普通感」??を
私たちと一緒に・・・
とか・・・

たぶん、そんな
ありきたりの生産性や能力だとかやなく

限りなく個別給付で考える

通うべき場所だとか時間だとかは
自ら（みんな）で決める

自己決定だとか自己実現
解らないけども間違いないのは・・・
無いものではない!ということ。。。

そこから生まれる関係性

医療的ケアだとかも関わる時間から

支援費制度元年に
自らの在り方（生きかた）を示した彼・・・

独自というか、己の生き方を示してくれました

おそらく彼の生き方が・・・

就労だとか介護とかではなくっての・・・

生産性や能力だとかでもない 「普通感」

あんたが居るだけで、。。

生き方の選び方・・・

制度に合わせるとかではなく・・・

「自分らしく」とかって、よく言うけれど・・・

ほんとにそれってどういうこと??

個別の対応が生み出すもの

おそらく生活に即していると思う

ご本人主体とはそういうこと

制度や職種で切り分けられない

そこから様々なことが産まれる

支援者と共にの相互主体の確立

ご本人さんの存在価値の明確化

1/13 おたんじょうびかい

ワッフルを

作っているそーです。。

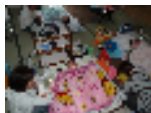
なんか寝てますが・・・

7～8年前、彼女の母は「生まれてこの方、2時間と離れたことがない」等と言っていました。。

彼女らに導かれる私ら・・・



来月はクリスマス会だよん!!



2011年11月17日

2010年のクリスマス会

超重症児などといわれる彼等たちの普通って・・・

息すること、生きることの意味だとか、
彼等の「力」、
「はたらき」だとか

あたりまえですが
機械に生かされてる訳じゃない。
呼吸器が息している訳じゃない。。

サンタのおばちゃんは、
言いました・・・

彼等の力にぜんぜん追いついてない
福祉・医療・地域・社会

2010年のクリスマス会

彼女・彼等の「力」「はたらき」を
なんちゃいますか、の医療ニースの高い方たち・・・
彼女・彼らとのなんとも言えない「かかわり」(関係)
そいつを共に創っていくことこそが、地域社会のはじまり

2010年のクリスマス会

彼女・彼等こそを

しっかりと・・・

彼女・彼等こそが・・・

・・・と言うよりも

置き去り(保護される)だとか

追いつかないと。。

ほっとかれる存在ではなくっての

間違いなく在る彼女・彼等の存在価値

彼女、彼等の「はたらき」
生産性

彼女・彼らが主体的に生きる社会こそが豊かな社会
立ち上がる(あるいは湧き上がる)主体と
相互主体への導き、地域社会の変革
「貧困」「無縁」の社会を変える
それらが彼女・彼らの「力」であり「はたらき」

糸賀一雄先生が記した生産性

そのことを実感し得る共存者として
それを導いてくれる彼女・彼らの「力」

USJにて

ほんでから、

あたりまえに、

お楽しみ・・・

彼等にとって、
私たちにとっての
「命」だとか
「時間」だとか

おでかけ 山歩き倶楽部



ふつーに趣味の・

六甲山最高峰!!!!

こうのいけスペースにて

彼女・彼等の・・・と言えるスペースに

それはきっと広さや大きさや位置だとかではなくって・・・

みんなで出かけ



神戸フルーツフラワーパーク

彼らに導かれての取り組み・・・
というか、彼女・彼らの凄さ・・・
追いついてない私たち。

望むくらし・自立・自己実現を考える際に

やっぱり、私ならどうなのか？
あなたならどうですか？ かしら・・・

私たちは感じ得ている（答）
彼女・彼らの「力」「はたらき」を
地域（街、あるいは町・村）で生きることによって
産み出される様々なこと・・・

全員の格差、貧困社会と言われる隣国にも
あんなにも、いつの時代にも、思わぬ
雇用創出だってね・・・

せんだって（2011年8月25日）の「ラーの会での宣言文です

2011.8.27

重症心身障害児者といわれる方々と共に生きる会
横浜大会 大会宣言のからの抜粋

一人ひとり（重症心身障害児・者といわれる方々）は、何もできない人、保護のもとにある人などでは到底あろうはずがありません。日々自己実現を目指し自分として自分らしく自分の人生を生きていこうとし続けている存在です。一人ひとりが地域社会の関わりの中で一人の市民として生きていこうとすることから、地域社会の中で新たな創造的営みを展開してきたこと。一人ひとりが地域社会の中に新たな価値観を生み出し本当に一人ひとりが大切にされる地域連帯のもとでの豊かさを満ちあこしていることを私たちは身を持って実感し続けてきました。

一人ひとりの存在価値のままに、地域生活展開と制度改革をおし進めていきたいと思います。

私たちの前で自身の暮らしを築き、一人ひとりの価値の物語を展開し、その人らしさを謳歌する一人ひとりのその立ち上がっていく主体は、厳然として暮らしを拓き続けてきましたし、これからもそうあり続けます。

間違いなくあるご本人さん（重症心身障害児・者といわれる一人ひとり）の存在価値と共に、私たち支援者というよりも共存者として共に立ち上がり、この機会にみんなで確認し繋がりがあっていきたいと思います。

一人ひとりの存在こそが、地域・社会としてこの国の希望です。

私たちはこれから・・・

やっぱり大切にしていきたいこと

基本は障害者権利条約

第5条 合理的配慮

そして、第19条 「平等の権利」

特定の生活様式を強いられない

そして、基本合意文書

「社会の対等な一員として

安心して暮らすことのできるものとする」

このことは、
総合福祉法の骨格提言の基礎となる指針

さらにしつこくみてみると

障害者総合福祉法の骨格に関する

総合福祉部会の提言

「はじめに」から抜粋

私たちのこうした思いが、国民や世論の理解と共感を得て、それが政治を突き動かし、障害者一人ひとりが自身の存在の価値を実感し、様々な人と共に支えあいながら生きていくことの喜びを分かち合える社会への一歩になることを信じて、ここに骨格提言をまとめました。

今、新法への一歩を歩み出すことが必要です。

まさに、我がまちでも

さらにしつこくみてみると

障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言「おわりに」から抜粋

・・・それは、とりもなおさず、「弱くもろい社会」から、一人ひとりの存在が心より大切にされ、誰もが排除されることなく社会に包摂される、本当に豊かな社会づくりに寄与するものであると確信しています。

今、日本中が協力して災害からの新生・復興をすすめ、すべての人が尊重され、安心して暮らせる社会を作ろうとしています。本骨格提言がめざす共生社会は、この新生・復興の日本社会の不可欠の一部となると信じています。障害者がその人らしく働いたり、社会活動しながら、暮らせる社会はすべての人が暮らしやすい社会でも在ります。

まさに、我がまちでも

望むくらし・自立・自己実現を考える際に

まだまだ全くとっていいほど足りない資源

まだまだ置いてけぼり感のある
「重心」「精神」といわれる方々
「高次脳機能障害」だとか「認知性意識障害」といわれる方々

まさに、障害者総合福祉法の
骨格提言にあるようなことなど

できることとすれば、
余計な困難が如何に低空飛行できるか? など

望むくらし・自立・自己実現を考える際に

私が思うに、というよりも、多くの方々（と言っても、ここにお集まりになっているような方々なんて、数は知れている、と思う）が感じている「社会資源の乏しさ」。

だけでも、この10年の間にも大きく（目まぐるしく）制度も変わってききました（決して全ての方にとっての「良い方向」ではないのかもしれませんが）。

おそらく、これからも、少しずつ（今回の総合福祉法の骨格提言もきつと削ぎ落とされて法案となるのでしょうか）みんなの望む制度へと変わっていくものかと思えます。

だけでも（ばかりですいません）、そんな流れを「待ってはいられない」方々に対して・・・、ここ向日市・長岡京市周辺でも、様々な方々の思いが積み重ねられ（ここらも、やっぱり、ご本人さんの「力」なんだろうね、きっと）、やっぱり「共に生きる」だとか「共生社会の実現」だとか「支援者」などと偉そうに語っている輩（ん、私のことだっ、）こそが、「それ」を補わなくてはならないと・・・（かなり強引・・・）。

私が言いたいのは、ほんの少しの「意識のあるもの（者）」（特に医療従事者）が、「地を這うように」とは言いませんが（いや、言ってる、すみません）、ほんの少し「低空飛行」できれば・・・と。

そんな思いこそがあれば
制度や法律で生きていく訳で無し
個別実践の实体化こそが普遍性へと繋がる

と、私は思う。
し、どうあるべきだとも思う。
その際に必要なのが、
彼女・彼らの存在の顕在化
彼女・彼らの存在価値を
それが私たちの行う（べき）こと

昨年度の調査報告書から等々・・・

「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」
に基づく医療的ケアの法制化についても・・・

仕組み・制度と 本当に必要なモノは

平成22年度障害者総合福祉推進事業
医療ニーズの高い障害者等への支援策に関する調査報告書

以下のサイトから

<http://www.kangaeyo-kai.net/>

地域生活を考えよーかい！

平成22年度障害者総合福祉推進事業
医療ニーズの高い障害者等への支援策に関する調査報告書

P61～ 5. 総括 より

「決して医療的ケアが特別なものとせず、境目無くサービスを提供」
「重要なのは、特定の行為ではなく、特定の人」とのかかわりであること
ということ

「相談支援の重要性」・・・具体的かつ即時的な機能が必要

「MSWの重要性」と市町村の責任

「福祉サービスの隙間を埋めることを誰かが担わない限り暮らしが成り立たない」「個別の支援を受けながら生活を維持している」実態

「施設（あるいは病院）」で提供される職員体制がしっかりしたサービスは時として（医療的ケアを要する方だとか）、その枠組み（組織・制度等）が利用に対して強固な壁となる場合があり、個別の支援を充実させることに重点を置いた方が、支援の量も幅も拡がる可能性がある。

Rくん、ほんとにありがとうね。。
ぜんぜん追いつけてなかったけど、
この写真がとっても好きだね。。

2011年11月13日
ありがとう、Rくん
しえあーどのおっちゃんより

ご清聴ありがとうございました

地域生活を考えようかい

<http://www.kangaeyo-kai.net/>

